

落合上渡船場(おちあいかみとせんじょう)

～木津川水門が真近に見れる渡船～

概要

落合上渡船は、大正区千島1丁目と西成区北津守4丁目を結んでいます(岩壁間100m)。

大正区側は旧町名を「新炭屋町」と言い、宝暦13年(1763年)に大坂瓦町居住の炭屋三郎兵衛によって開発された「炭屋新田」のあったところです。明治以降も鉄工所や造船所等の企業が立地するとともに、北方の三軒家方面へ道が延びていました。

また、関西随一の木材市場を支えた「大正運河」(現在は埋め立てられ千島公園の下になっています)の木津川の入口は、この渡しの南側にありました。

上流にある木津川水門(防潮)は、常時開いているが、毎月1回程度開閉試験運転のため閉められます。



『わがまち大正』から転載

